

岐阜県との懇談会

8月23日(水)、中経連は岐阜県との懇談会を開催し、双方の今年度の重点事業に関する情報共有、意見交換を行った。岐阜県からは古田知事、神門副知事をはじめ11名、中経連からは豊田会長、水野副会長、佐々木副会長、竹中副会長、村瀬副会長をはじめ13名が参加した。懇談概要は以下のとおり。

豊田会長は、「IoT・AIなどの技術進歩への対応や新産業創出に向けた取り組み、東美濃の地域活性化、美濃焼や関の刃物などの地域産業活性化などについて、岐阜県と協力しながら取り組んでいきたい」と述べた。

一方、古田知事は、「今年白山開山1,300年、信長公が岐阜に入城し、地名を岐阜と名付けて450年など、多くの節目の年であり、県の魅力づくりをはじめ、様々な施策を戦略的に展開していく。また、全国知事会の地方創生対策本部長として若者の東京一極集中の是正など、地方創生の実現に向けてしっかりと取り組んでいく」と述べられた。

その後、双方の重点事業の説明と自由懇談が行



われ、IoTへの対応やイノベーション推進に向けた研究機関の活用方法、自動運転等のモビリティと観光の組み合わせや、県境を越えた観光産業の振興、東美濃の地域活性化などについて幅広く意見交換を行った。

(企画部 岡戸 信之)

会員大学・学校法人との懇談会

8月31日(木)、中経連は会員大学・学校法人との懇談会を開催し、中経連の産学連携に係る活動および中部圏の経済界と大学との幅広い連携方策等について意見交換を行った。

はじめに、事務局より産学連携による人材育成およびイノベーション力の強化に関する中経連の取り組みについて説明を行い、その後、意見交換に移った。参加者からの主な意見は以下のとおり。

人材育成

人材育成委員会が策定中の提言の中間案、アンケート結果については共感する意見があった一方で、「大学教育に加えグローバル人材、社会人教育の視点も必要」「高等教育に絞った方がイン



パクトがある」「大学時代の若い頃に、魂が揺さぶられる経験が視野を広くする」との意見もあった。

イノベーション力の強化

大学教育における異分野融合の重要性に関する意見が多く、「技術者にもリベラルアーツを含めた幅広い教養を備えさせる必要がある」「産学あるいは大学間がさらに連携して取り組むことが必要」などの提案があった。

その他

インターンシップの充実に向けた経済界の協力依頼、インターナショナルスクールの卒業生の卒業資格への対応や活用などの意見があがった。

(総務部 伊藤 康隆)